

平成27年1月実施の相続税増税に備える!!
税理士からの“相続税の疑問”を明快に解説

税理士必携

事例にみる

相続税の疑問と解説

【著者】岩下 忠吾

A5判・定価(本体3,400円+税) 送料350円

※送料は平成26年7月時点の料金です。

- ◆長年にわたり、税理士会員相談室における税理士の相談に回答してきた経験や税理士研修会での質問をベースに200超の豊富な事例を丁寧に解説。相続税・贈与税の理解が深まる、相続税増税・生前贈与対策の決定版!!
- ◆相続税の周辺知識や基礎知識の理解に始まり、具体的な課税・非課税財産の判定、課税価格や税額の計算、その計算の前提となる各種特例の適用の可否、相続財産の評価方法に至るまで、相続税実務のイロハを徹底解説!!
- ◆国税当局の質疑応答集に未掲載の事例について、①問題点を明確にするとともに②法令への正しい理解、③特例等の適用判断ポイント等——をアドバイス!!

はじめにより

本書は、月刊「税理」に平成6年1月から連載してきた“税金クイズ”の中から一般の質疑応答集などに取り上げられていない相続税の実務上の疑問や問題点を選択し、現在の法令に照らして、その解説を著したものです。

月刊「税理」に掲載した事例は、税理士会をはじめ全国の税理士先生から研修会などで受けた質問や疑問について、その真意を確認し、どのようなことに悩んだのか、解決できなかったことの原因はどこにあるのか、法令の適用に当たって誤解はなかったのか、などを話し合いの中で探り、検討し、その時点において解決点を見つけ出したものです。

実務の中では、本書に掲載した事例は氷山の一角であり、またその内容が難解なものも枚挙にいとまがないと思います。

一つの疑問を法令の正しい適用と解釈により解決したことが、将

来への糧となり、更に新たな疑問に取り組む意欲をかきたてることにつながっていくはずです。

私たちは、一つの課税事案について、税法の理論だけではなく、税のあり方、一人一人の納税者に対して公平であるかどうか、担税力に見合った課税であるのか、さらに課税実務において納税者の理解・納得を得られる解釈適用であったかなど、あらゆる視点からその適用要件を検討して判断することが重要であることを認識し、その姿勢で実務に対処していきたい。

本書が、皆様の実務の中で一つでもお役に立ち、問題解決のヒントになることを願っております。

平成26年6月

岩下 忠吾

目次(抄)

第1章 民法と相続税・贈与税

- 【事例1】認定死亡
- 【事例2】同時死亡の推定
- 【事例3】死因贈与
- 【事例4】相続分の譲渡
- 【事例5】瑕疵ある遺言書と死因贈与
- 【事例6】～【事例14】(略)

第2章 納税義務

- 【事例15】海外居住者
- 【事例16】外国人の相続
- 【事例17】町内会などへの寄付
- 【事例18】相続放棄と死亡保険金
- 【事例19】相続人を受取人としている死亡保険金
- 【事例20】【事例21】(略)

第3章 課税財産

- 【事例22】未支給年金
- 【事例23】保証債務の一括弁済による利益
- 【事例24】前払保証料
- 【事例25】遺留分の減殺請求に対する現物返還
- 【事例26】小規模企業共済の承継通算
- 【事例27】～【事例51】(略)

第4章 非課税財産

- 【事例52】宗教法人に墓地として貸し付けている土地
- 【事例53】庭内神し
- 【事例54】死亡保険金の非課税
- 【事例55】保険金の非課税と公益法人への贈与の非課税
- 【事例56】死亡退職金の公益法人への贈与
- 【事例57】～【事例60】(略)

第5章 課税価格

- 【事例61】非課税財産と代償金
- 【事例62】一部分割財産と課税価格
- 【事例63】裁判確定前の相続分
- 【事例64】特別縁故者への財産分与
- 【事例65】代償金の算定と譲渡所得
- 【事例66】～【事例70】(略)

第6章 債務控除

- 【事例71】裁判による債務確定
- 【事例72】無利息債務の評価
- 【事例73】無利息の建設協力金
- 【事例74】親子間の金銭貸借
- 【事例75】未履行の贈与契約
- 【事例76】～【事例83】(略)

第7章 小規模宅地等

- 【事例84】適用対象者

- 【事例85】小規模宅地等の利用者
- 【事例86】不動産貸付けと事業の判定
- 【事例94】被相続人の建物の利用による判定
- 【事例88】同一生計親族の建物の利用による判定
- 【事例89】～【事例107】(略)

第8章 生前贈与・税額計算

- 【事例108】相続開始の年の居住用財産の贈与
- 【事例109】相続開始の年の非上場株式の贈与
- 【事例110】2次相続と生前贈与加算
- 【事例111】贈与税の非課税財産
- 【事例112】贈与税額の還付
- 【事例113】～【事例124】(略)

第9章 贈与税

- 【事例125】既存建物の増築と持分の登記
- 【事例126】共有財産の持分放棄
- 【事例127】無利息の金銭消費貸借
- 【事例128】贈与と申告
- 【事例129】国民年金の代位支払
- 【事例130】～【事例154】(略)

第10章 財産の評価

- 不動産
 - 【事例155】～【事例157】宅地の評価単位①～③
 - 【事例158】宅地の評価
 - 【事例159】遺産分割と宅地の評価
 - 【事例160】～【事例189】(略)
- 株式
 - 【事例190】上場株式
 - 【事例191】取引相場のない株式(姻族関係)①
 - 【事例192】取引相場のない株式②
 - 【事例193】～【事例203】(略)

著者プロフィール

岩下 忠吾 (いわした ちゅうご)

昭和19年 東京生まれ、税理士。

租税訴訟学会理事、日本税務研究センター資産税事例研究員、日本税務会計学会相談役、東京地方税理士会税法研究所主任研究員、千葉県税理士会会員相談室主任相談員、早稲田大学法科大学院講師

【主な著書】

『詳細 相続税 資料収集・財産評価・申告書作成の実務 改訂版』(日本法令)、『非上場株式の評価と承継対策』、『実践 事業承継・財産承継の税務』(税務経理協会)、『総説 相続税・贈与税 第3版』、『一問一答 相続税・贈与税の実務』(財経詳報社)、『土地の評価計算と実務対応』、『土地・株式の評価と明細書の書き方』(中央経済社)、『相続税の申告実務』(税務研究会)、『事例からみた税理士の注意義務』(共著、ぎょうせい)他、多数

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール(通話料無料)
電話受付時間: 平日9時から17時

TEL: 0120-953-431
FAX: 0120-953-495

Web
サイト

URL: <http://gyosei.jp>

キリトリ線

申込書

税理士必携 事例にみる相続税の疑問と解説

部

A5判・定価(本体3,400円+税)送料350円 コード 5108084-00-000 相続税疑問解説

◎上記のとおり申し込みます。

平成 年 月 日

御住所 (〒 —)

(社費・公費・私費)

フリガナ
御氏名

☎

TEL

e-mail

@

※送料は平成26年7月時点の料金です。

※お客様の個人情報は、契約の履行、弊社からの商品・サービスのご案内以外の目的には使用いたしません。



株式会社
ぎょうせい

本社 東京都中央区銀座7-4-12 〒104-0061
本部 東京都江東区新木場1-18-11 〒136-8575
TEL: 0120-953-431 / FAX: 0120-953-495

URL: <http://gyosei.jp>

●取扱者